

まず さいわ
貧しい人々は幸い

さかだちをすると、上と下がさかさまになります。

あたりまえと思っていることでも、さかさまになるこ

ともあります。どんなことがさかさまになるか考え

て、思いついたことを、つぎの空白に書いてください。

まず ひとびと さいわ
貧しい人々は幸い

イエスさまの話はなしを聞いて、貧しい人ひとや、苦しんで

いる人ひとは喜びましたが、金持ちかねもちや、豊かな人ひとは、決して

喜びませんでした。イエスさまは、いまの状態じょうたいが、

まったくさかさまになると言いわれました。

でも、イエスさまは、どうしてこんなことを言いわれ

たのでしょうか。「貧しい人ひとが幸い」と言いったところ

で、貧しいことはつらいことにかわりありません。貧

しいよりは、豊かなほうゆたがいいにきまっています。

どうして、貧しいほうまずが幸いさいわなのでしょうか。イ

エスさまは、現在の状態をそのままにしておいたら
よいと言っているではありません。ごく一部の人は
ちだけが豊かな生活をしていて、残りの大部分の人た
ちは、貧しく、ひもじい思いをしていることに、むし
ろ怒っていたはずですよ。

それならば、なぜこんな発言をしたのでしょうか。
もつとはつきりと、富を公平に分けなさいと言えよ
かったのではないのでしょうか。

たしかに、富を公平に分けることは大切なことです。
しかし、制度としてそれが実現されるためには、一人
ひとりの心が変わらなければなりません。

イエスさまは、そのことを言いたかったにちがいは
りません。富をもっている人は、自分のことしか考
えない人たちで、そのような心を持っている人は不幸
だ。貧しい人たちは、貧しいために苦しいが、それ
も、なんとかお互いに助けあいながら生きています。

だからこそ、幸いだと言えるのです。

